

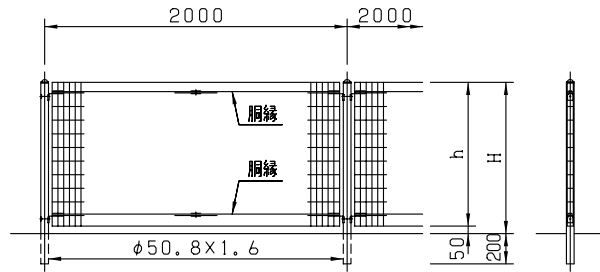
# ARフェンス施工要領書（施工前に必ずお読みください）

・AR-GF800~1200も同要領です。但し、柱規格はφ50.8×2.3、埋込み寸法は250mmです。

## A型組立図

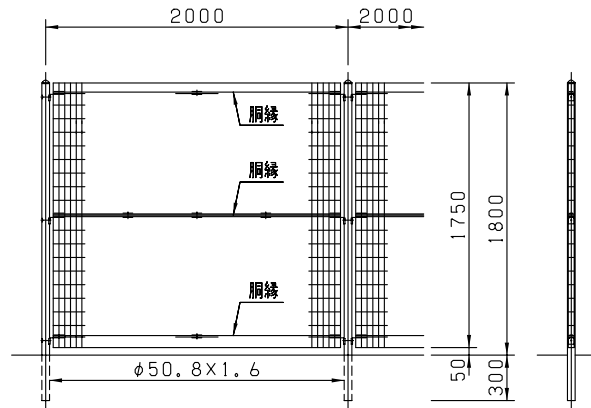
・R型（球キャップ付）も本図に準ずる。

AR-A800, 900, 1000, 1200

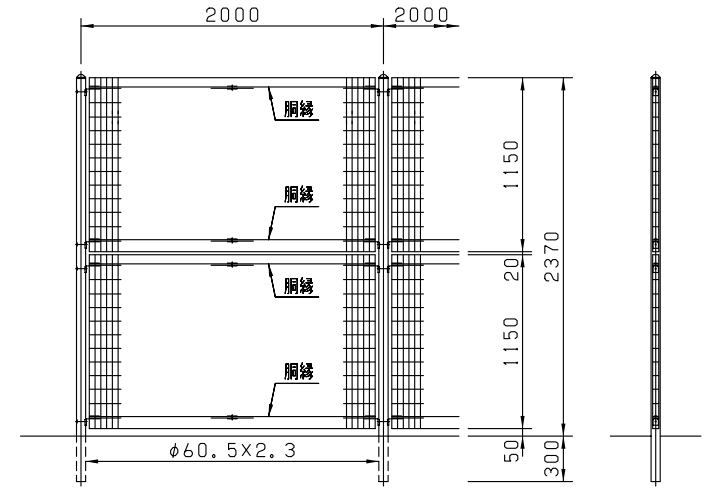


呼 称	H(mm)	h(mm)
AR-A 800	800	750
AR-A 900	900	850
AR-A 1000	1000	950
AR-A 1200	1200	1150

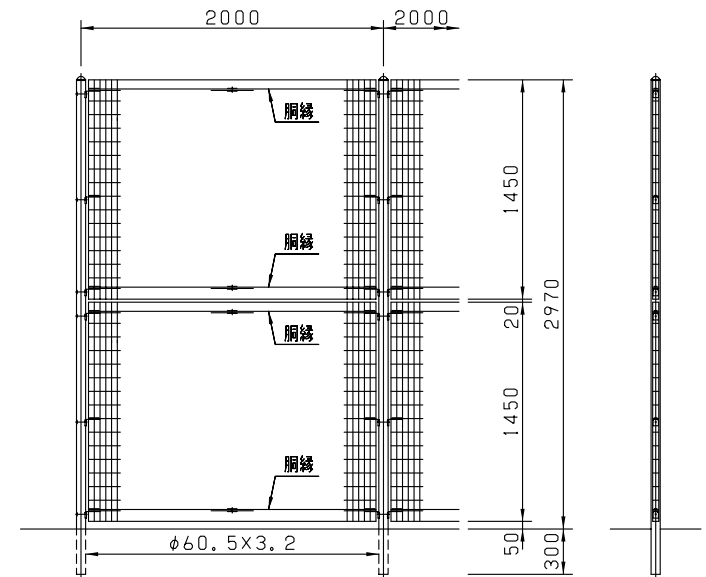
AR-A1800



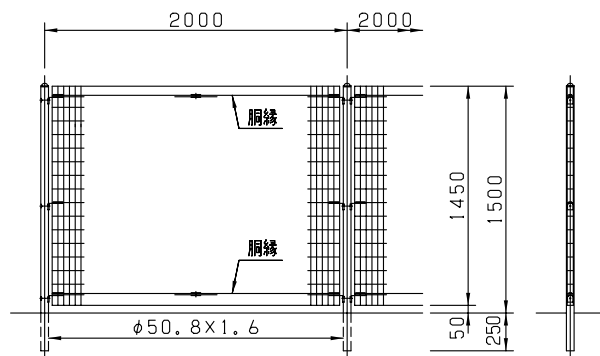
AR-A2400



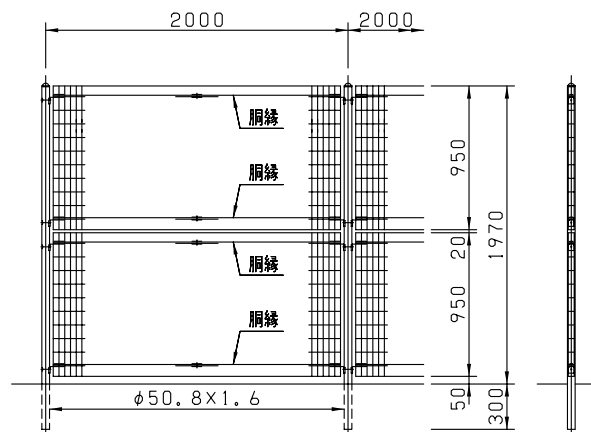
AR-A3000



AR-A1500



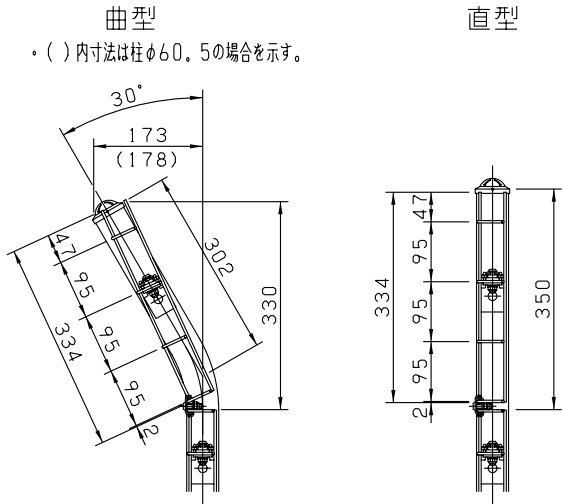
AR-A2000



# ARフェンス 忍び返し付

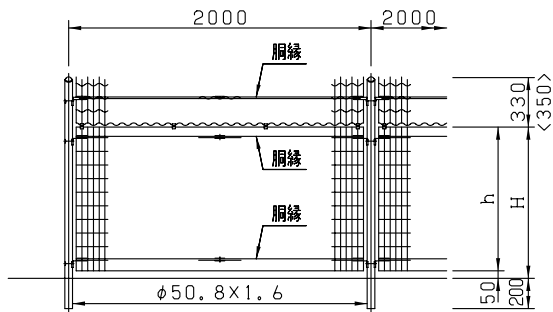
・ <> 内寸法は直型の場合を示す。

## 忍び返し図



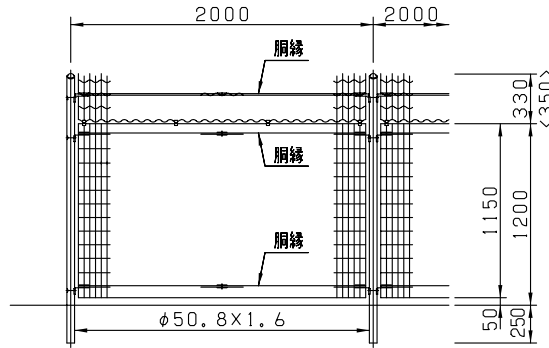
・ ( ) 内寸法は柱φ60.5の場合を示す。

AR-A800, 900, 1000 (忍び返し付)

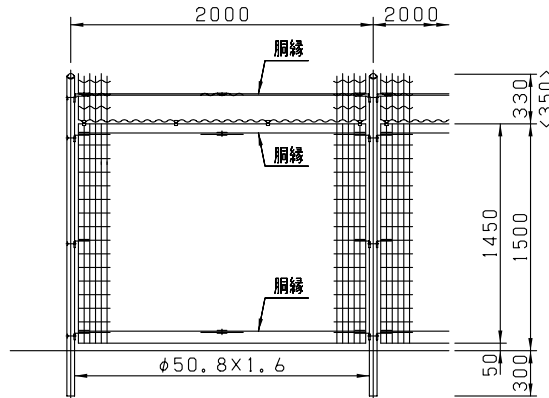


呼称	H(mm)	h(mm)
AR-A 800	800	750
AR-A 900	900	850
AR-A 1000	1000	950

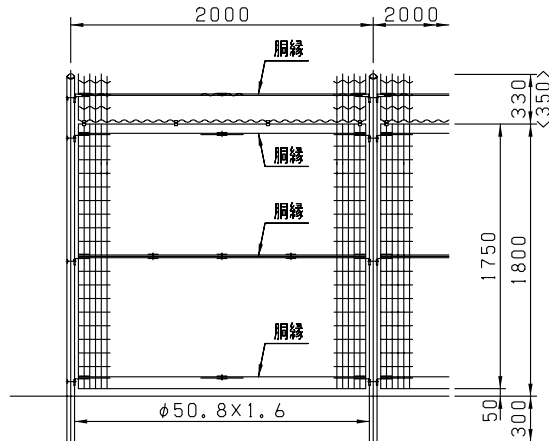
AR-A1200 (忍び返し付)



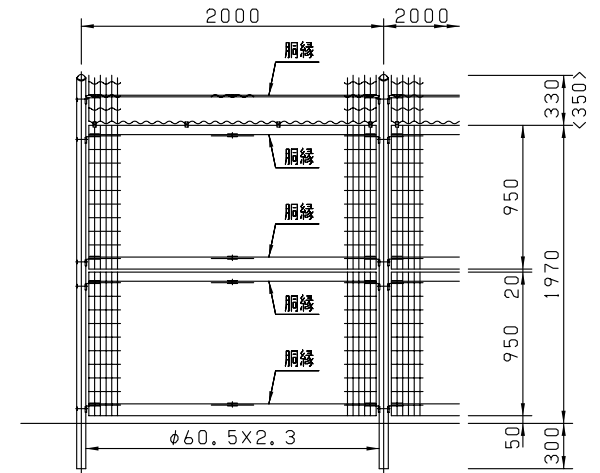
AR-A1500 (忍び返し付)



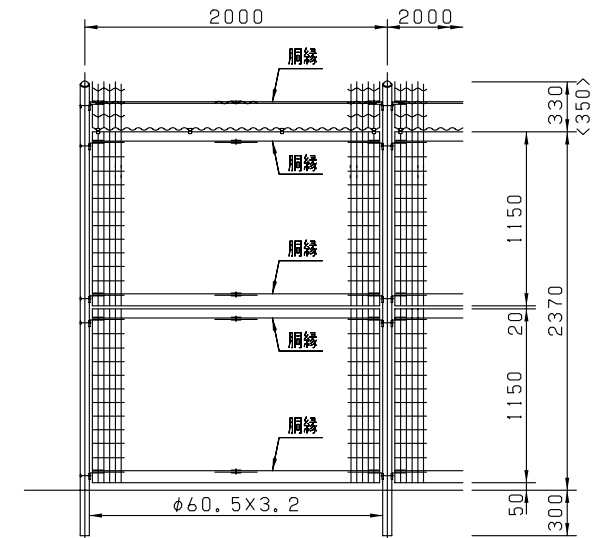
AR-A1800 (忍び返し付)



AR-A2000 (忍び返し付)



AR-A2400 (忍び返し付)



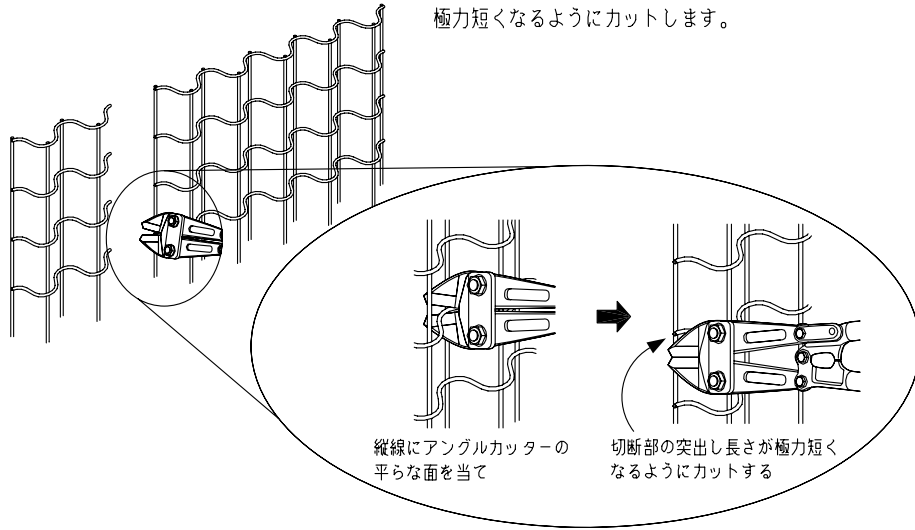
# ARフェンス パネル・胴縁端尺加工要領

**⚠ 注意** 端尺加工は必ず下記の手順で行ってください。

## パネル

### ① パネルを端尺スパンで必要な長さにカット

縦線にアングルカッターの平らな面を当て、横線突出し長さが極力短くなるようにカットします。

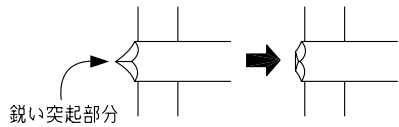


縦線にアングルカッターの平らな面を当て

切断部の突出し長さが極力短くなるようにカットする

### ② 切断面の処理

切断部分の鋭い突起は危険です。サンダー又はヤスリで削ってください。

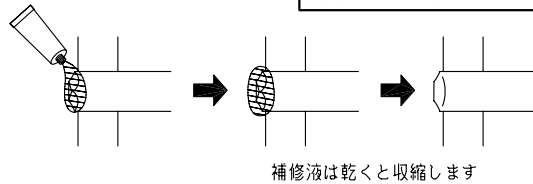


鋭い突起部分

### ③ 補修

同梱のパネル専用補修液(チューブ入り)で切断部がなめらかになるように覆う。

柱、胴縁、他部品の補修塗りに使用しないこと。



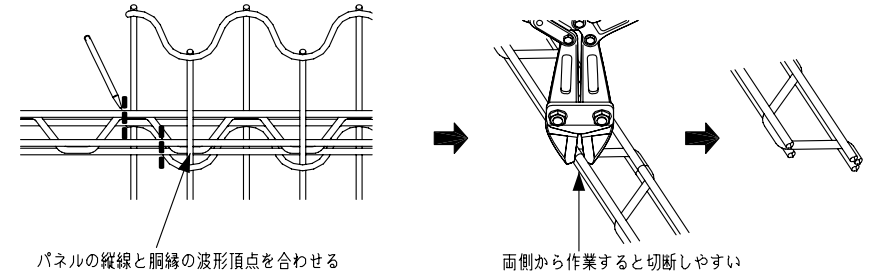
補修液は乾くと収縮します

## 胴縁

### ① 胴縁をカットしたパネルに合わせて切断

カットしたパネルに胴縁を差込みパネルの縦線と胴縁の波形頂点を合わせて切断位置に印をつける。

パネルから胴縁を取り出し、印に合わせてアングルカッターで切断する。



パネルの縦線と胴縁の波形頂点を合わせる

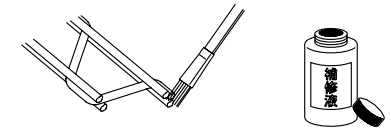
面側から作業すると切断しやすい

### ② 切断面の処理

切断部分の鋭い突起は危険です。パネル部と同様にサンダー又はヤスリで削ってください。

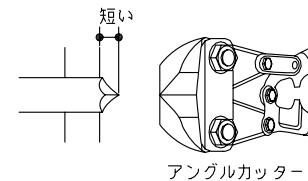
### ③ 補修

同梱の補修用塗料(プラスチック容器入り)で切断面とコートの剥離した部分を補修する。(2回塗り)



## 参考

### アングルカッターの特長



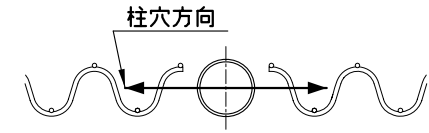
アングルカッター

アングルカッターは普通のクリッパーに比べて裏面が平らなため、切断部の突出し長さを短くできます。

## 組立上の注意

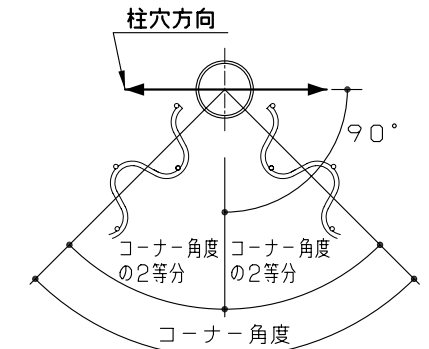
- ① 柱建込みについて
  - ・ 中間、端末の場合は、水平、勾配ともに柱のボルト穴をフェンス延長方向（図1-a）に向けて建込みしてください。
  - ・ コーナーの場合は、コーナー角度の2等分方向に対して直角（図1-b）に柱のボルト穴を向けて建込みしてください。
  - ・ 兼用門柱，羽根出し部柱の建込み方向は（14 / 17）～（16 / 17）頁を参照ください。
  - ・ 三方コーナー水平の場合は、ボルト穴方向をコーナー角度の2等分方向（図1-c）に向けて建込んでください。
- ② パネルの表裏は、施主と協議して決定ください。（図2）の表裏は参考です。
- ③ 端尺スパンのパネル及び胴縁は（3 / 17）頁を参考に現場加工が必要です。
- ④ パネルに胴縁をセットする時、（図3）の如くパネル中央部の胴縁波形頂点とパネル縦線を合せてください。パネルのガタツキを少なくし、仕上がりを良くするためのポイントです。

（図1-a）中間、端末（水平、勾配）

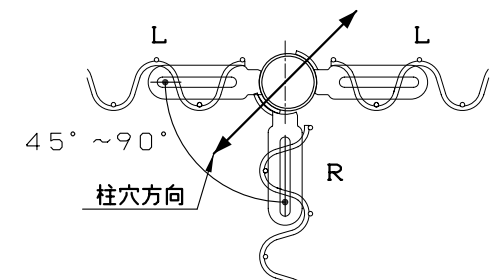


（図1-b）コーナー（水平、勾配）

注）鋭角コーナー（45°～79°）も同様。

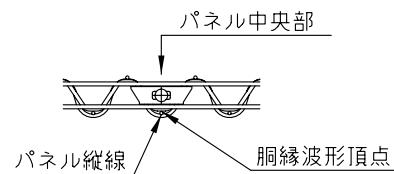


（図1-c）三方コーナー（水平）



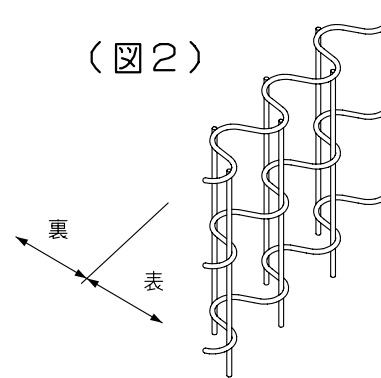
（図3）

定尺2mスパンの上・下段胴縁及び忍び胴縁部



- ・ パネル中央部で胴縁波形頂点とパネル縦線を合わせ、最初に中央部を押え金具で締付ける。
- ・ 端尺スパン及び中段胴縁部は（9 / 17）頁を参照
- ・ 勾配8° 以上の場合は（17 / 17）頁を参照

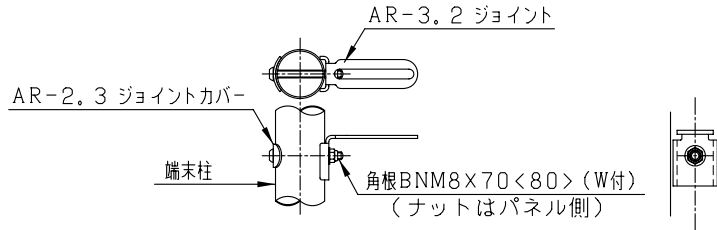
（図2）



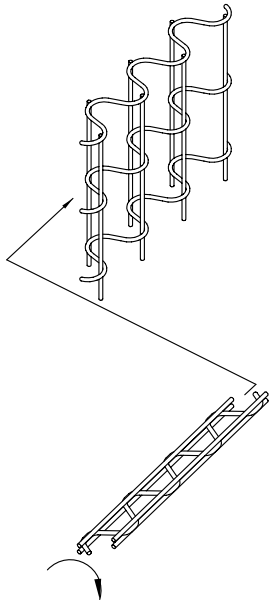
# 組立手順

・ <>内は柱φ60。5の場合を示す。

- 1 **基礎穴の確認** 柱間隔は芯々2000mmです。建込み穴間隔、穴の大きさ、深さなどをご確認ください。
- 2 **柱の建込み** 組立図の埋込み寸法に基づき柱を建込む。柱のボルト穴方向は(4/17)頁「組立上の注意①」を参照のこと。
- 3 **モルタル充てん** 水平、通り、建りを正してモルタル充てんを行う。
- 4 **パネル取付け**
  - a) スパン寸法に合わせてパネル、胴縁を準備する。
  - b) 端末柱にAR-3。2 ジョイント及びAR-2。3 ジョイントカバーを角根BNM8×70<80>(W付)で取付ける。



- c) パネルに胴縁を取付ける。
    - 上段胴縁・・・パネル上より2本目の横線の上側に差込む。(忍び胴縁も同様)
    - 下段胴縁・・・パネル下より2本目の横線の上側に差込む。
- A1800は、中段胴縁部で上下パネルを接続する。
- 中段胴縁・・・上パネル最下段横線の下側と下パネル最上段横線の上側の間に挟み込む。



90°回転させた状態でパネルに差込み、所定位置で回転させることでスムーズにセットできます。

パネル中央部で胴縁波形頂点とパネル縦線を合わせ、上・中・下段胴縁部の各要領でAR-2。3 押え金具を締付ける。

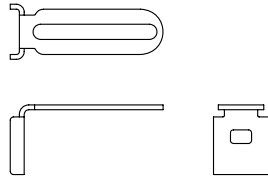
<p><b>上段胴縁部</b> 忍び胴縁も同要領</p> <p>注) ・スパン別のAR-2。3 押え金具配置は(9/17)頁を参照                  ・勾配8°～35°の場合は(17/17)頁を参照</p>	<p><b>下段胴縁部</b></p> <p>A2000以上の上側パネル下段胴縁部は角根ボルトを上から差込みます。(ボルト・ナットは本図と逆向き)</p> <p>注) ・スパン別のAR-2。3 押え金具配置は(9/17)頁を参照                  ・勾配8°～35°の場合は(17/17)頁を参照</p>
<p><b>A1800中段胴縁部</b> A1800の上下接続は、パネルの上下に注意してください。縦線が突出している面を胴縁に取付けてください。</p> <p>注) 勾配8°～35°の場合は(17/17)頁を参照</p>	



# ARフェンス 部品 (1/2)

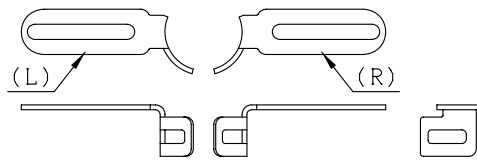
## AR-3.2 ジョイント (中間・端末兼用)

コーナー角度 161° ~ 直線部 (180°)  
且つ  
勾配角度 0° ~ 3° に使用



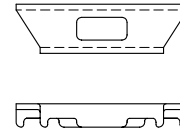
## AR-3.2 ジョイント コーナー (L・R)

コーナー角度 80° ~ 160°  
且つ  
勾配角度 0° ~ 3° に使用



(三方コーナーの場合は角根BNM8×75 (W付)を使用)

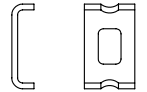
## AR-2.3 押え金具



## AR-2.3 ジョイントカバー (端末に使用)



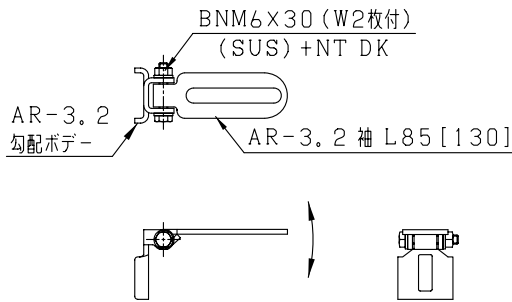
## AR-2.3 継ぎ金具



## 勾配ジョイント (中間・端末兼用)

- ・勾配角度 8° ~ 35° の場合、袖L寸法は [ ] 内を使用
- ・勾配ボデーと袖は現地セット

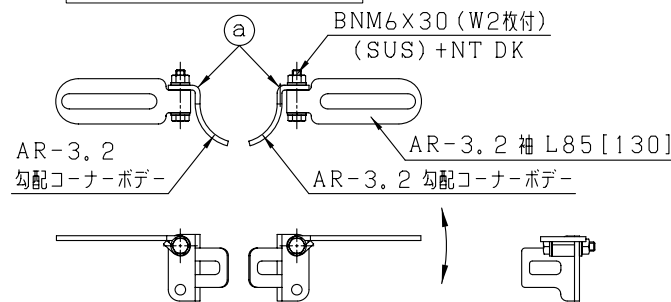
コーナー角度 161° ~ 直線部 (180°)  
且つ  
勾配角度 4° ~ 35° に使用



## 勾配・コーナージョイント

- ・勾配角度 8° ~ 35° の場合、袖L寸法は [ ] 内を使用
- ・勾配コーナーボデーと袖は現地セット
- ・鋭角コーナー 45° ~ 79° は ㊸ 部を現地曲げ

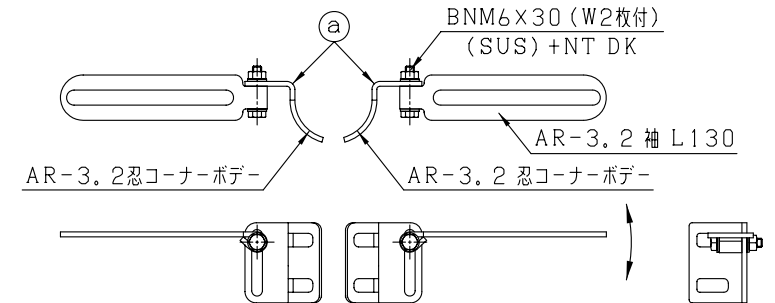
コーナー角度 45° ~ 160°  
且つ  
勾配角度 4° ~ 35° に使用



## 忍び部自在ジョイント (曲忍用)

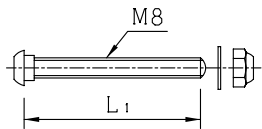
- ・忍コーナーボデーと袖は現地セット
- ・鋭角コーナー 45° ~ 79° は ㊸ 部を現地曲げ

コーナー角度 45° ~ 179° の曲忍パネル取付けに使用



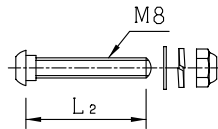
※BN M6×30 (W2枚付) の取付方向はフェンスのBNに合わせてください。

## 角根ボルト・ナット



L <sub>1</sub> (mm)
※15 (W付)
25 (W付)
70 (W付)
75 (W付)
80 (W付)

注) 8×15はBT (W付)



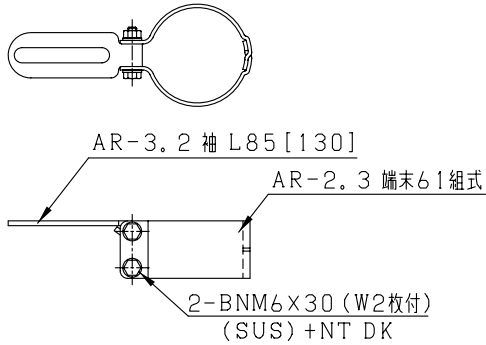
L <sub>2</sub> (mm)
30 (W、SW付)
35 (W、SW付)
40 (W、SW付)
46 (W、SW付)
53 (W、SW付)

# ARフェンス 部品 (2/2)

## 兼用門柱ジョイント

### 門柱φ60.5の場合

- ・勾配角度8°～35°の場合、袖L寸法は [ ] 内を使用
- ・袖及びBNM6は現地セット

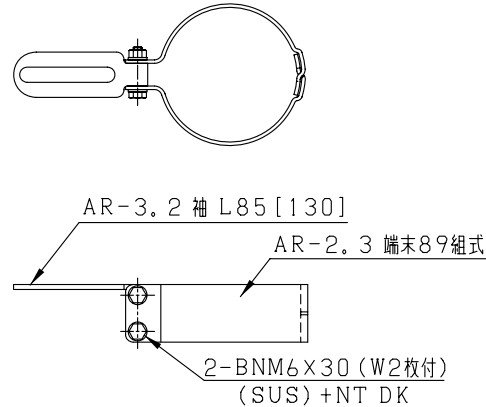


### 門柱φ89.1の場合

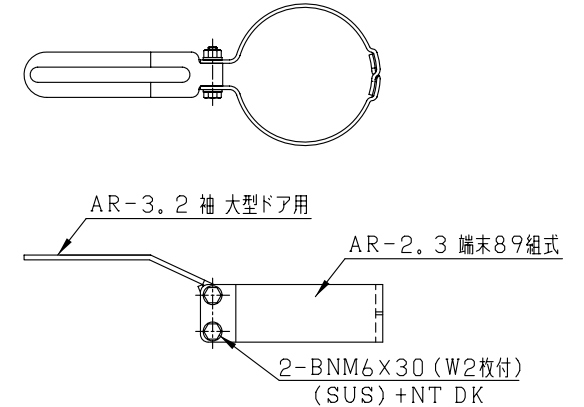
- ・袖及びBNM6は現地セット

対象門扉 W2500 (H1800, H2000のみ)

- ・勾配角度8°～35°の場合、袖L寸法は [ ] 内を使用

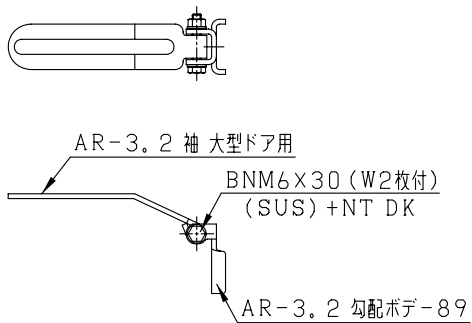


対象門扉 W3000, W4000



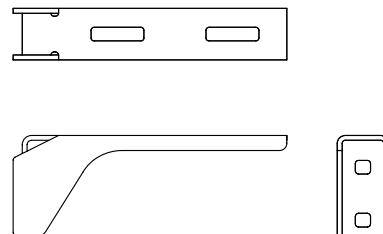
### 門柱φ89.1を越える場合

- ・勾配ボデーと袖は現地セット



## AR-3.2 羽根出しジョイント

- ・柱芯～パネル外寸法200mm以上～500mm以下の羽根出しに使用
- ・柱芯～パネル外寸法200mm未満はAR-3.2 ジョイント (中間・端末兼用) を使用



※BN M6×30 (W2枚付) の取付方向はフェンスのBNに合わせてください。

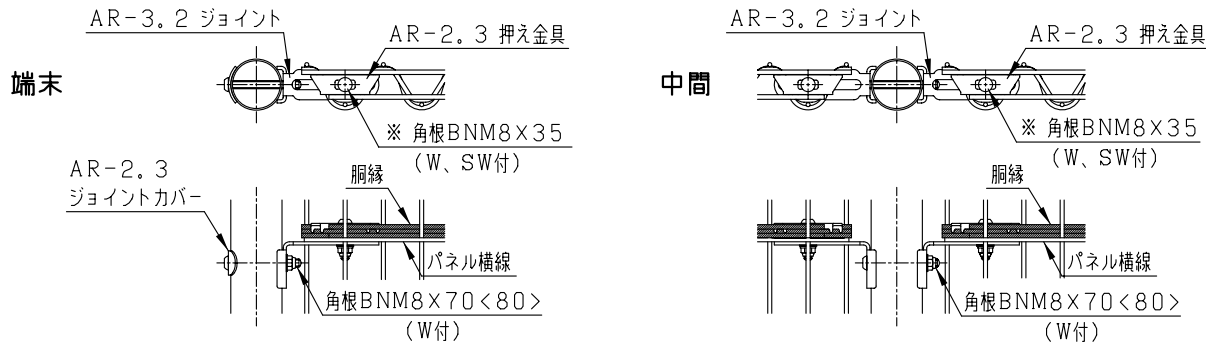


# パネル取付け要領（水平）

- ・直忍、曲忍パネル取付けは「上段胴縁（柱部）」と同要領です。
- ・<>内は柱φ60。5の場合を示す。

## 上・下段胴縁（柱部）

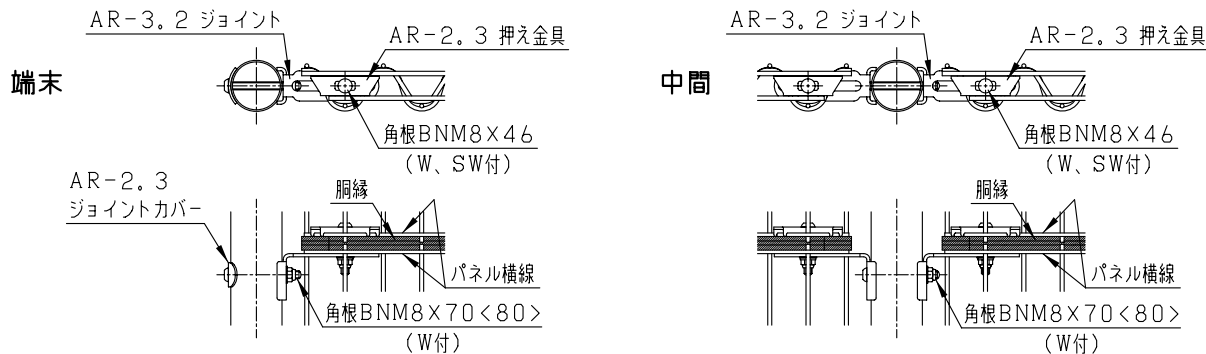
下段胴縁部は※印角根ボルトM8×35を下から差込みます。但し、A2000以上の上側パネル下段胴縁部は上から差込みます。



## A1500パネル中段（柱部）

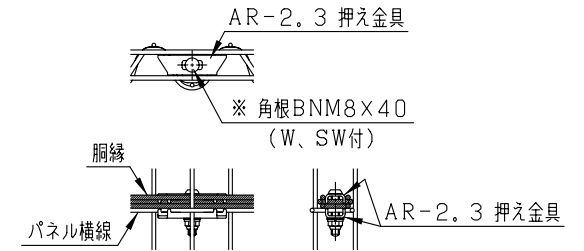


## A1800中段胴縁（柱部）



## 上・下段胴縁及び忍び胴縁（中央部）

下段胴縁部は※印角根ボルトM8×40を下から差込みます。但し、A2000以上の上側パネル下段胴縁部は上から差込みます。



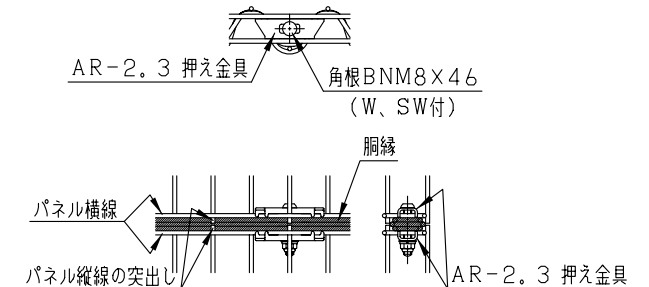
スパン寸法別のAR-2.3 押え金具配置

スパン寸法	AR-2.3 押え金具の配置
1000mm以下	不要
1000mm超え~2000mm迄	中央1ヶ所

注) 勾配8°~35°の場合は(17/17)頁を参照

## A1800中段胴縁（スパン途中）

2mスパンに3ヶ所（4等分）取付ける。端尺スパンの場合は約500mm毎に取付ける。但し、勾配8°~35°の場合は(17/17)頁を参照ください。



## パネル取付け要領（コーナー）

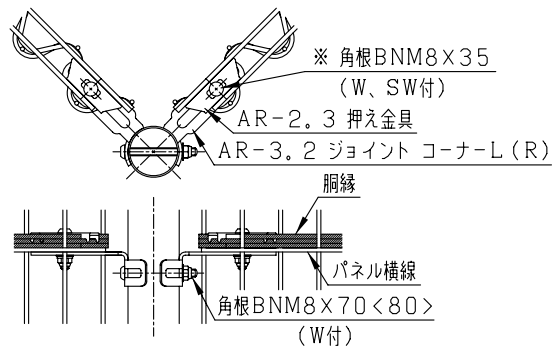
- ・勾配角度4°～35°の場合は（12/17）頁、「パネル取付け要領（コーナー勾配）」を参照ください。
- ・直忍パネル取付けは「上段胴縁（柱部）」と同要領です。曲忍は（13/17）頁、「パネル取付け要領（忍び部）」を参照ください。
- ・<>内は柱φ60.5の場合を示す。

### コーナー角度（80°～160°） 勾配角度（0°～3°）

・コーナー角度（161°～179°）はAR-3.2 ジョイント（中間・端末兼用）を使用してください。

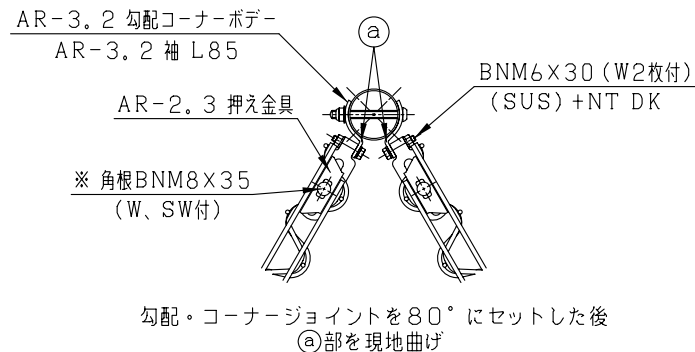
#### 上・下段胴縁（柱部）

下段胴縁部は※印角根ボルトM8×35を下から差込みます。但し、A2000以上の上側パネル下段胴縁部は上から差込みます。

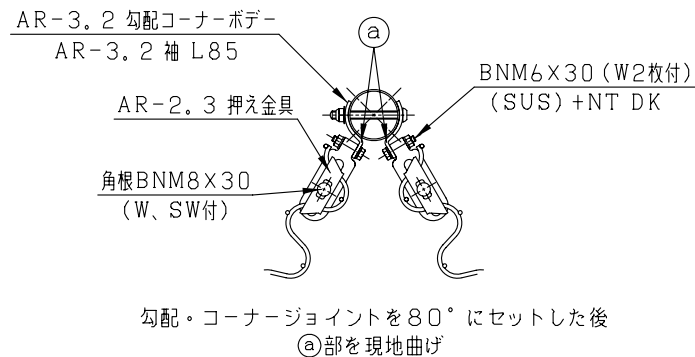
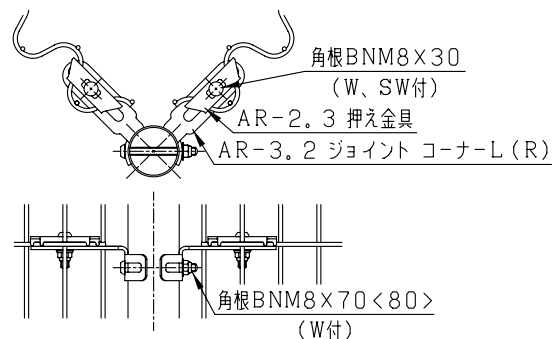


### 鋭角コーナー水平 コーナー角度（45°～79°） 勾配角度（0°～3°）

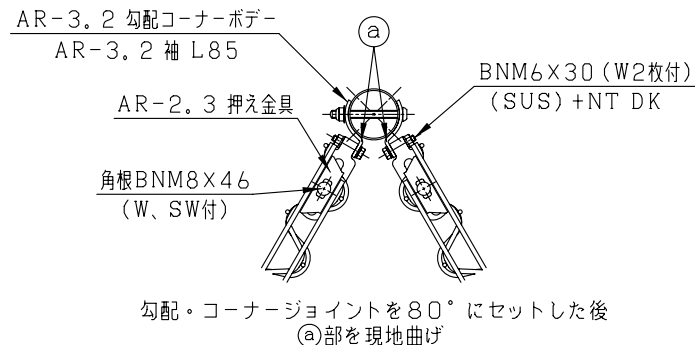
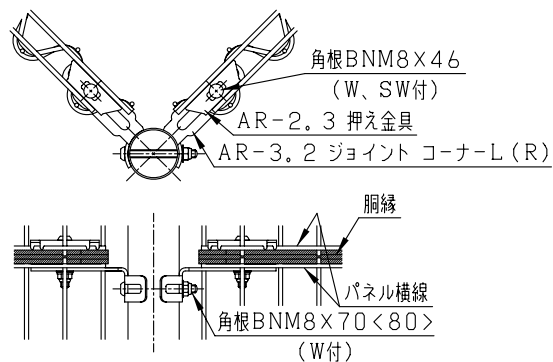
パネル取付け部品は（12/17）頁、パネル取付け要領（コーナー勾配）に準ずる。



#### A1500パネル中段（柱部）



#### A1800中段胴縁（柱部）



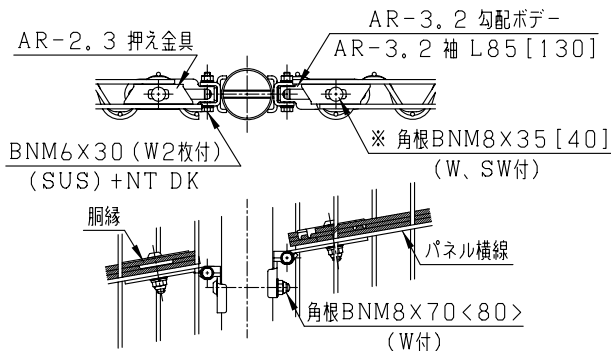
# パネル取付け要領（勾配）

- ・勾配角度0°～3°の場合は（9/17）頁、「パネル取付け要領（水平）柱部」を参照ください。
- ・直忍、曲忍パネル取付けは「上段胴縁（柱部）」と同要領です。
- ・<>内は柱φ60。5の場合を示す。
- ・勾配角度8°～35°の場合、袖L寸法、ボルト長さは〔 〕内を使用してください。

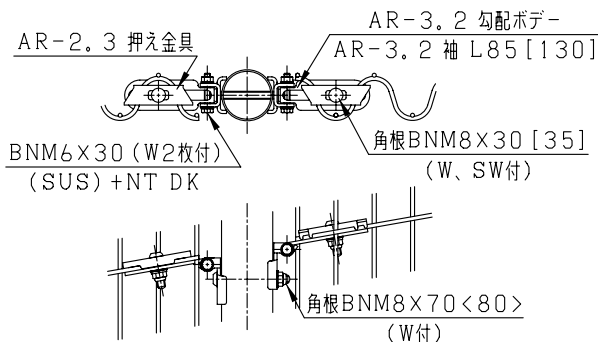
## 中間勾配 勾配角度4°～19°

### 上・下段胴縁（柱部）

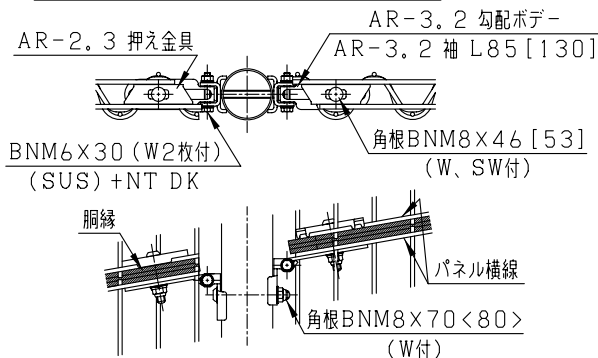
下段胴縁部は※印角根ボルトM8×35〔40〕を下から差込みます。但し、A2000以上の上側パネル下段胴縁部は上から差込みます。



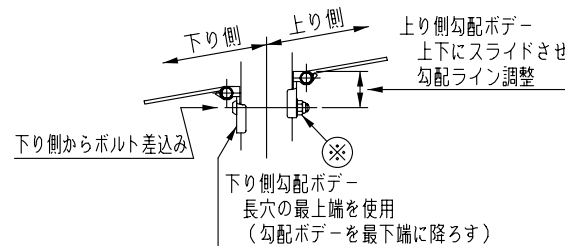
### A1500パネル中段（柱部）



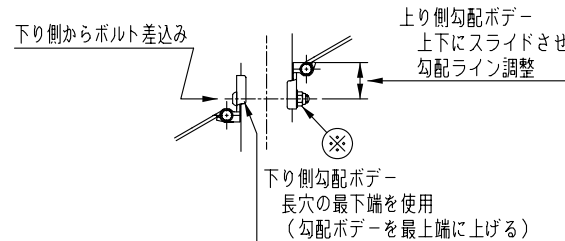
### A1800中段胴縁（柱部）



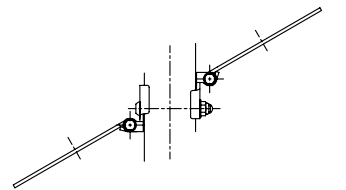
## （図4） 中間勾配 勾配角度4°～19°



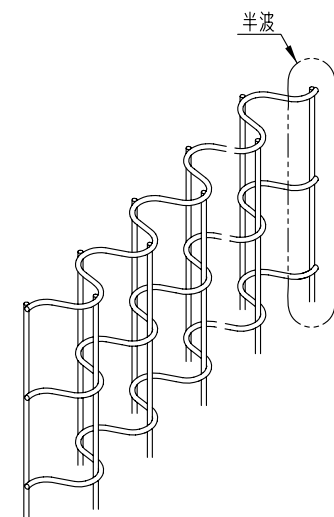
## 中間勾配 勾配角度20°～35°



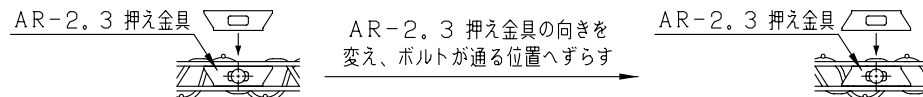
## 中間勾配（各段） 勾配角度20°～35°時のジョイント組合せ



## （図5）



- 注意 1. AR-3.2 勾配ボデーの取付け方向及び長穴での上下調整によりパネル勾配ラインを通すように施工してください。但し、角度により勾配ラインが通らない場合もあります。  
（図4）※印ナット締付け時ラチェットレンチが使用できない場合は、スパナでの締付けになります。
2. 勾配角度によりパネル波が片端のみ半波（図5）の場合があります。忍び返し付の場合は、AR-2.3 継ぎ金具接続のため、忍び返しパネル横線波と揃うようにフェンスパネルを施工してください。忍びなしの場合は、半波の向きをスパン右側又は、左側で統一して仕上がり良くしてください。
  3. 勾配角度により、パネルから胴縁が突出する場合があります。その場合は胴縁をカットしてください。尚、カット部は鋭利な先が残らないよう手入れの上補修塗りを施してください。
  4. 上・下胴縁、A1800中段胴縁及び忍び返し胴縁のAR-2.3 押え金具（スパン途中）取付け要領は、勾配0°～7°は（9/17）頁を、勾配8°～35°は（17/17）頁を参照ください。尚、勾配部ではパネル縦線と胴縁波形頂点は揃いません。
  5. AR-2.3 押え金具止め用の角根ボルトとパネル波線又は胴縁波線が干渉して通らない場合の処理方法  
a) AR-2.3 押え金具の向きを変え、ボルトが通る位置へずらして取付ける。



- b) 方法 a で解消出来ない場合、干渉する波線をカットしてください。尚、カットはボルトが通るだけの短い長さとし、カット面には補修塗りを施してください。

# パネル取付け要領（コーナー勾配）

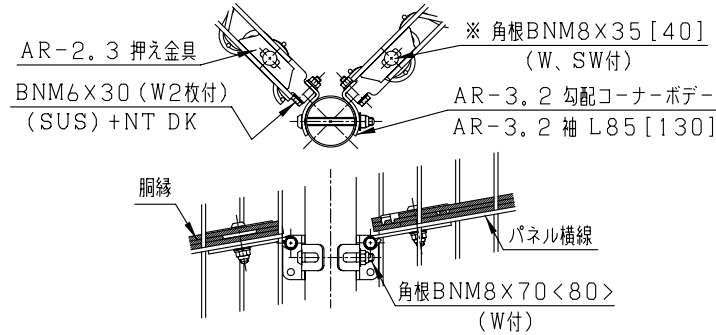
- ・勾配角度 $0^{\circ} \sim 3^{\circ}$ の場合は（10 / 17）頁、「パネル取付け要領（コーナー）」を参照ください。
- ・直忍パネル取付けは「上段胴縁（柱部）」と同要領です。曲忍は（13 / 17）頁、「パネル取付け要領（忍び部）」を参照ください。
- ・<>内は柱 $\phi 60$ 。5の場合を示す。
- ・勾配角度 $8^{\circ} \sim 35^{\circ}$ の場合、袖寸法、ボルト長さは [ ] 内を使用してください。

**コーナー勾配**  
**コーナー角度（ $80^{\circ} \sim 160^{\circ}$ ）**  
**勾配角度（ $4^{\circ} \sim 35^{\circ}$ ）**

・コーナー角度（ $161^{\circ} \sim 179^{\circ}$ ）はAR-3.2 勾配ボデーを使用してください。

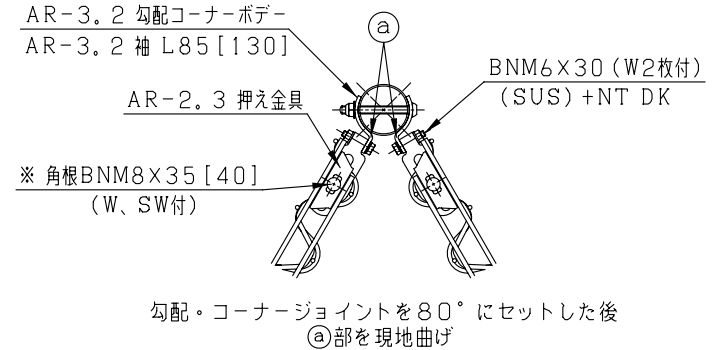
## 上・下段胴縁（柱部）

下段胴縁部は※印角根ボルトM8×35 [40] を下から差込みます。但し、A2000以上の上側パネル下段胴縁部は上から差込みます。

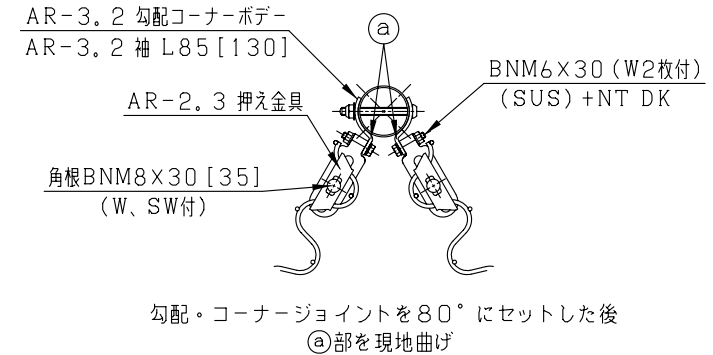
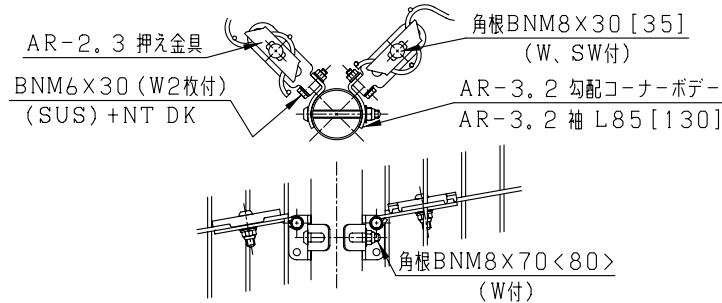


**鋭角コーナー勾配**  
**コーナー角度（ $45^{\circ} \sim 79^{\circ}$ ） 勾配角度（ $4^{\circ} \sim 35^{\circ}$ ）**

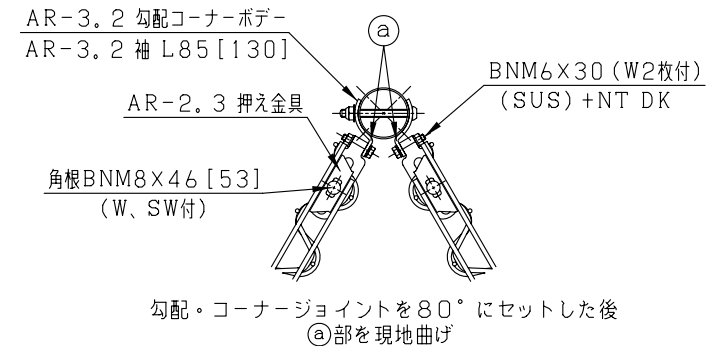
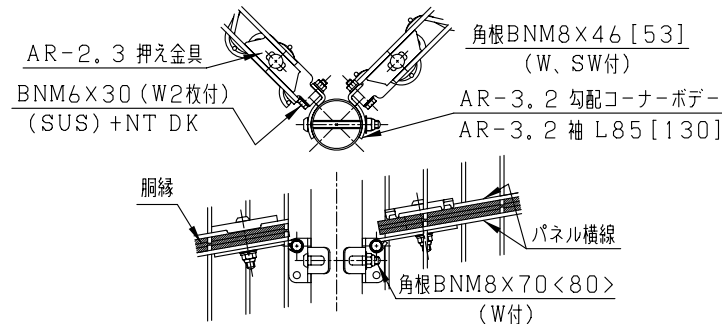
パネル取付け部品は左図コーナー勾配に準ずる。



## A1500パネル中段（柱部）



## A1800中段胴縁（柱部）



# パネル取付け要領（忍び部）

- ・ <>内は柱φ60。5の場合を示す。
- ・ 勾配角度8°～35°の場合、ボルト長さは[ ]内を使用してください。

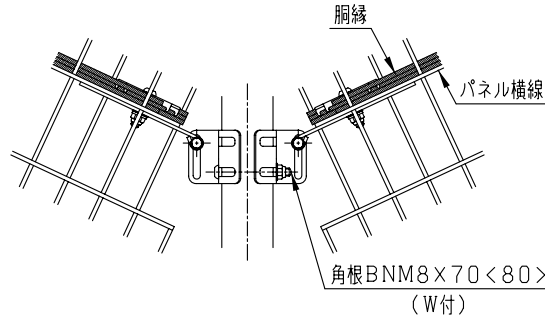
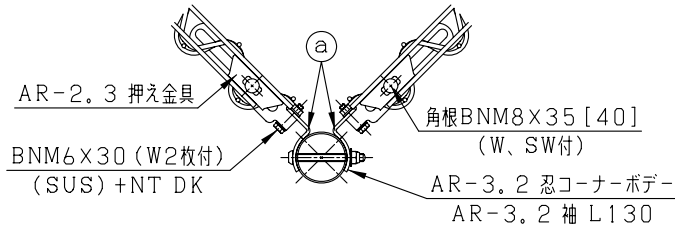
## 曲忍パネル取付け（柱部）

### コーナー、コーナー勾配

コーナー角度（45°～179°）

勾配角度（0°～35°）

- ・ 鋭角コーナー（45°～79°）は②部を現地曲げ

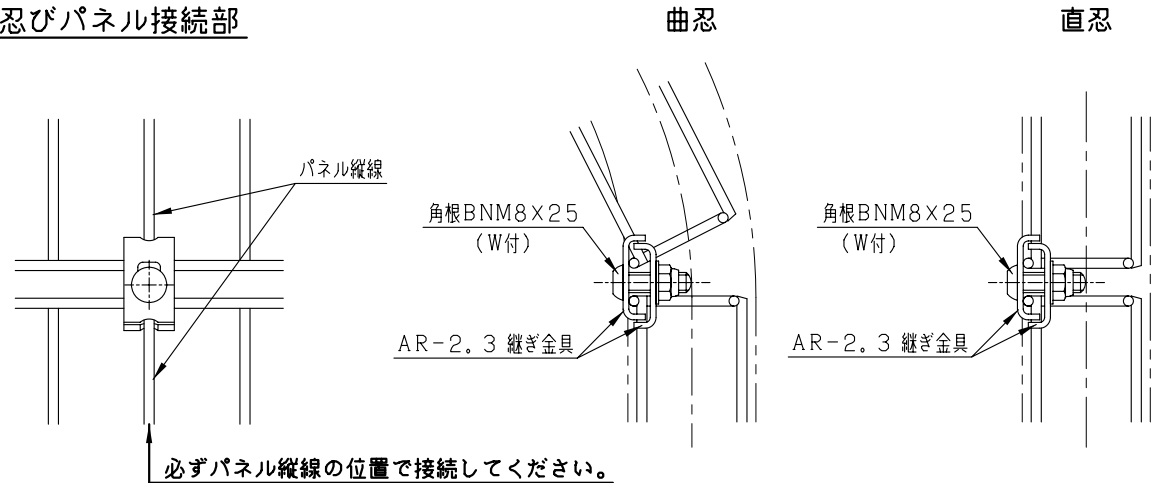


注) 忍びパネルのコーナー部は現地合せ（現場カット）とし、カット部は鋭利な先が残らないよう手入れの上補修塗りを施してください。

## 左図以外の忍びパネル取付け

- ・ 直忍、曲忍・・・ 端末水平、中間水平・・・（9/17）頁「パネル取付け要領（水平）」の上段胴縁（柱部）を参照
- ・ 直忍・・・ コーナー・・・（10/17）頁「パネル取付け要領（コーナー）」の上段胴縁（柱部）を参照
- ・ 直忍、曲忍・・・ 端末勾配、中間勾配・・・（11/17）頁「パネル取付け要領（勾配）」の上段胴縁（柱部）を参照
- ・ 直忍・・・ コーナー勾配・・・（12/17）頁「パネル取付け要領（コーナー勾配）」の上段胴縁（柱部）を参照

## 忍びパネル接続部



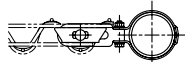
スパン別のAR-2.3 継ぎ金具接続箇所数

スパン寸法	箇所数
750mm未満	2ヶ所
750mm以上～1300mm未満	3ヶ所
1300mm以上～2000mm迄	4ヶ所

# パネル取付け要領（兼用門柱）水平、勾配（1 / 2）

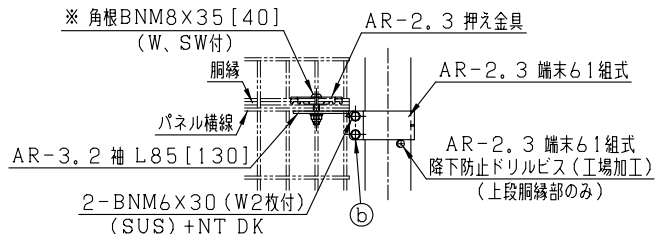
・勾配角度8°～35°の場合、袖寸法、ボルト長さは[ ]内を使用してください。

## 門柱φ60.5の場合



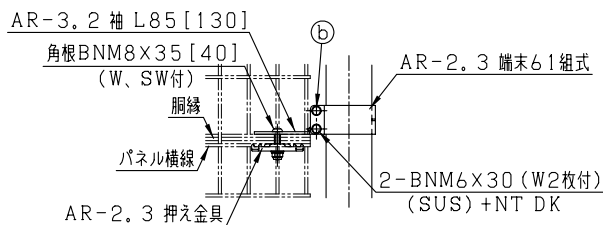
### <上・下段胴縁部>（H2000片開き扉施錠側門柱の上側パネル下段胴縁部を除く）

下段胴縁部は※印角根ボルトM8×35[40]を下から差込みます。但し、A2000の上側パネル下段胴縁部は上から差込みます。

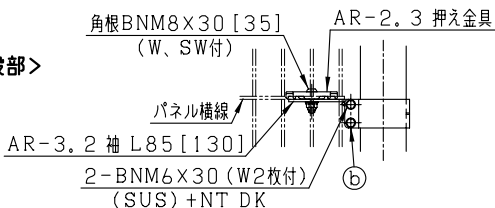


### <H2000片開き扉施錠側門柱の上側パネル下段胴縁部>

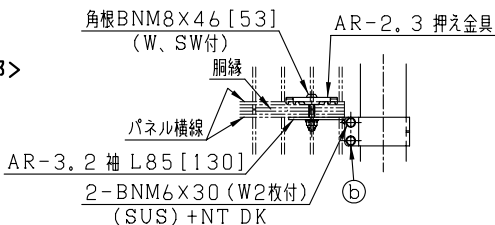
両面回転施錠との干渉を避けるため下図の向きで取付ける。



### <A1500パネル中段部>



### <A1800中段胴縁部>

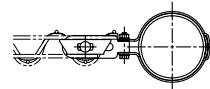


- 注) 1. AR-2.3 端末61組式、89組式は、図中ⓑ側のBNで門柱に仮止め後袖を取付け、位置及び方向を決めて本締めすれば取付けが簡単です。  
 2. 門柱は別紙「門柱・扉本体施工（取付）平面図」に基づき建込みしてください。  
 3. W3000, W4000扉開き側にコーナーとしてパネルを取付ける場合で門柱蝶番とパネルが干渉する時は、図中太線（上段胴縁部、最下段胴縁部参照）のパネル及び胴縁をカットしてください。尚、カット部は鋭利な先が残らないよう手入れの上補修塗りを施してください。

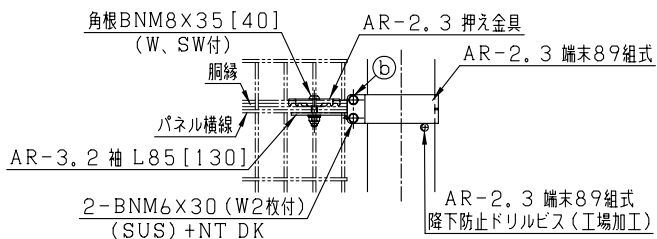
## 門柱φ89.1の場合

対象門扉 W2500（H1800, H2000のみ）

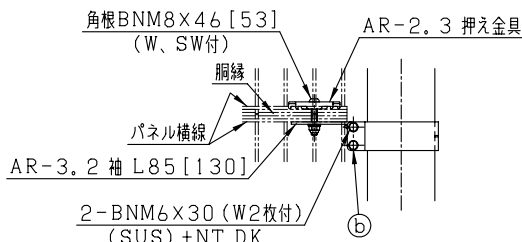
対象門扉 W3000, W4000



### <最上段胴縁部>

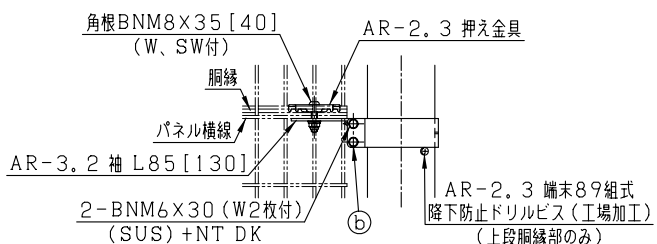


### <A1800中段胴縁部>

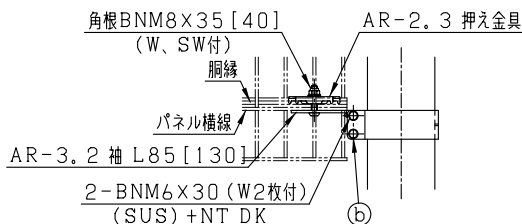


### <A2000下側パネル上段胴縁部>

A2000上側パネル下段胴縁部は本図に準ずる。

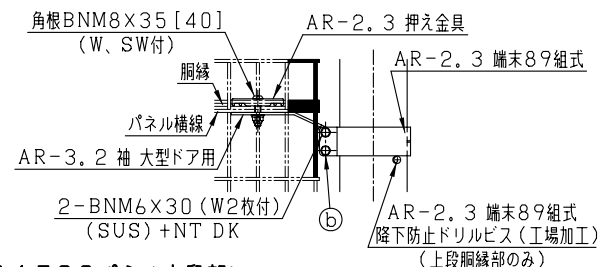


### <最下段胴縁部>

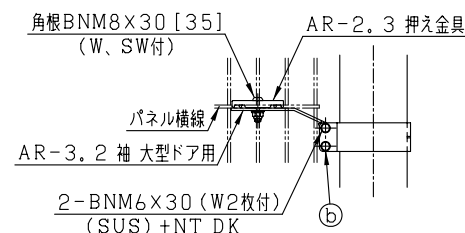


### <上段胴縁部>

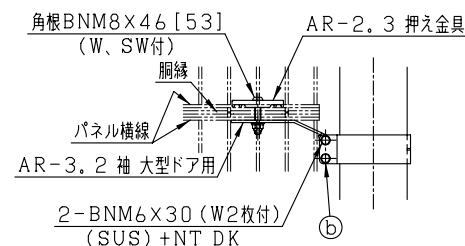
A2000上側パネル下段胴縁部は本図に準ずる。



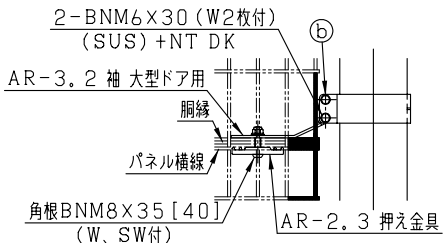
### <A1500パネル中段部>



### <A1800中段胴縁部>



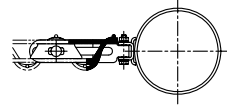
### <最下段胴縁部>



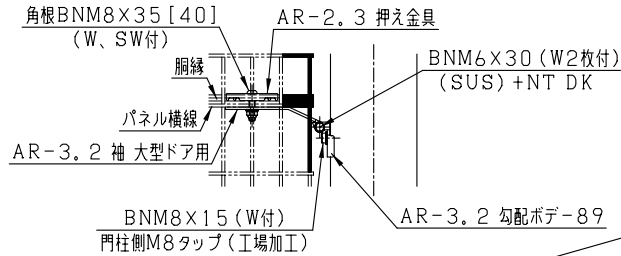
# パネル取付け要領（兼用門柱）水平、勾配（2 / 2）

・勾配角度8°～35°の場合、ボルト長さは [ ] 内を使用してください。

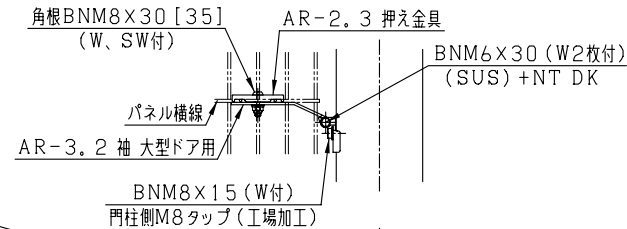
## 門柱φ89.1を越える場合



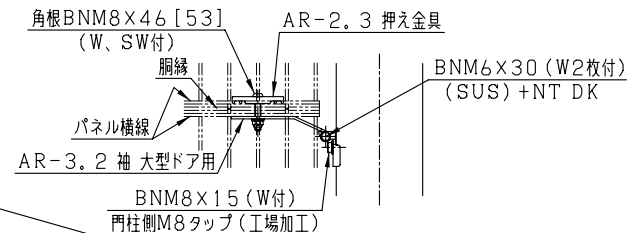
### <上段胴縁部>



### <A1500パネル中段部>

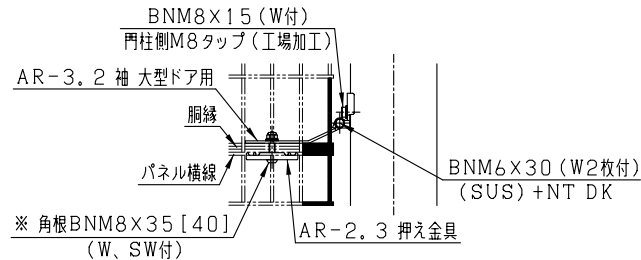


### <A1800中段胴縁部>



### <下段胴縁部>

A2000の上側パネル下段胴縁部は※印角根ボルトM8×35 [40]を本図と逆向きに上から差込みます。



注) 1. 門柱はM8タップをフェンス延長方向に向け、且つ、蝶番向きを別紙「門柱・扉本体取付平面図」に合せて建込みしてください。

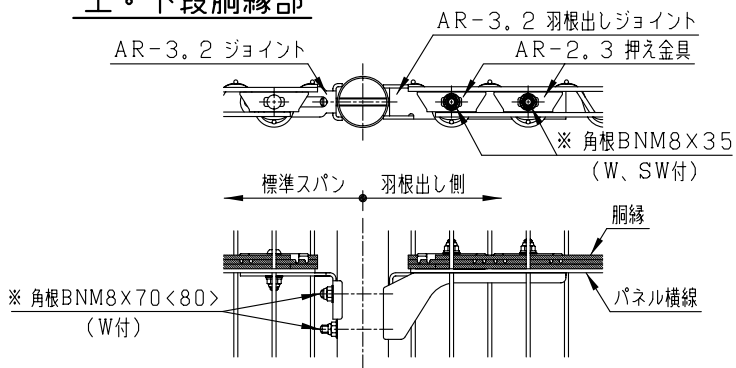
2. 扉開き側にコーナーとしてパネルを取付ける場合で門柱蝶番とパネルが干渉する時は、図中太線（上段胴縁部、下段胴縁部参照）のパネル及び胴縁をカットしてください。尚、カット部は鋭利な先が残らないよう手入れの上補修塗りを施してください。

# パネル取付け要領（羽根出し）

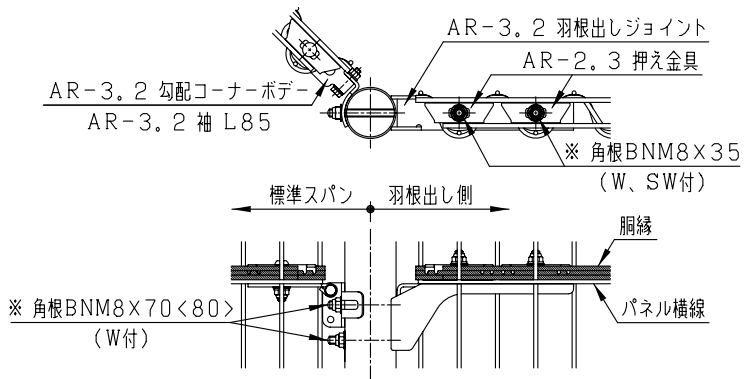
・<>内は柱めら0.5の場合を示す。  
 ・※印角根ボルトは羽根出しジョイント側から差込みます。

## コーナー171°～直線部（180°）

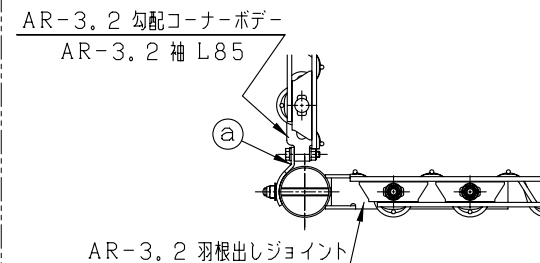
### 上・下段胴縁部



## コーナー126°～170°

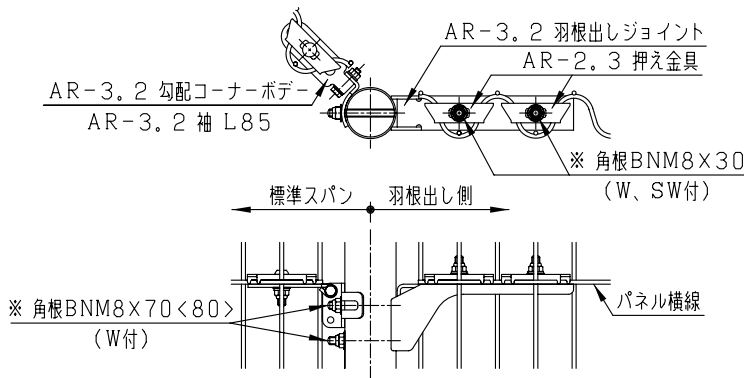
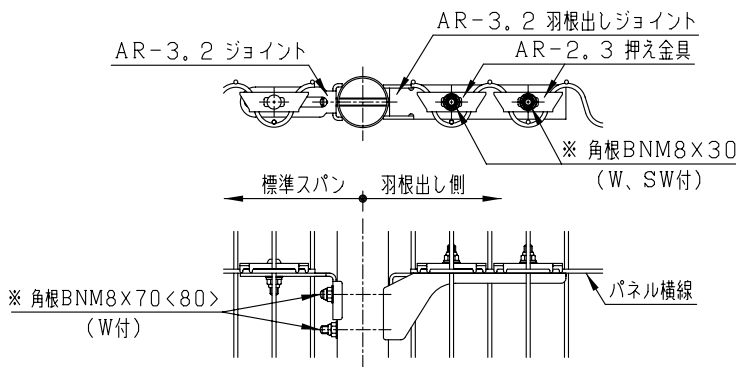


## コーナー80°～125°

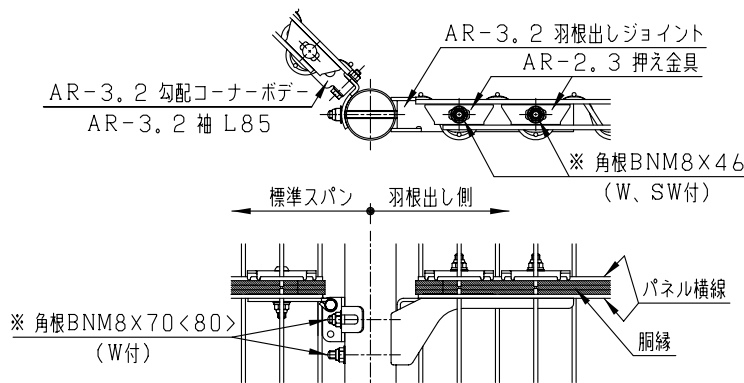
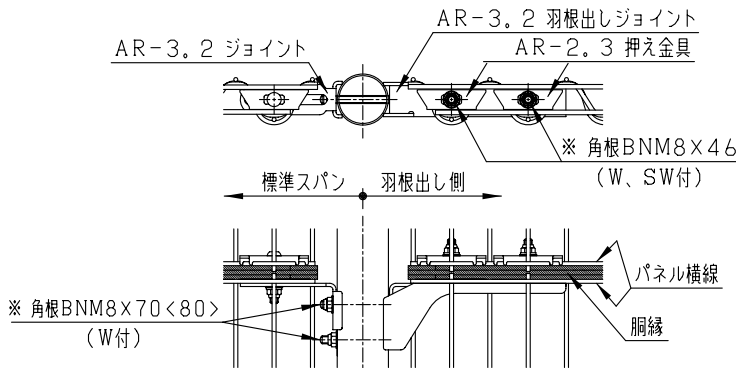


コーナー80°～125°は、上図の通りAR-3.2 勾配コーナーボデーの袖取り付け位置を替えて②部を角度に合わせて現地曲げしてください。  
 （上・中・下段とも同要領）

### A1500パネル中段部



### A1800中段胴縁部



### 注意

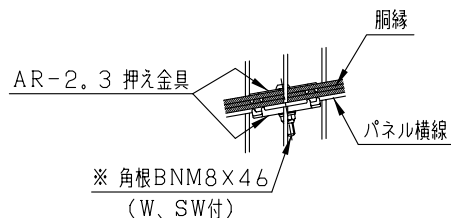
- ・本頁の羽根出し仕様は水平部に対応します。
- ・羽根出し端部はパネル及び胴縁を所定寸法にカット、補修した状態となります。（加工は現地）
- ・羽根出し寸法（柱芯～パネル外）は、200mm～500mmの範囲で使用してください。200mm未満はAR-3.2 ジョイント（中間・端末兼用）を使用してください。
- ・直忍、曲忍パネル取付けも本図と同様です。但し、曲忍のコーナー部には使用できません。
- ・柱のボルト穴を羽根出し方向に向けて建込みしてください。
- ・パネル及び胴縁は（3/17）頁、「パネル・胴縁端尺加工要領」に準じて現地加工してください。
- ・標準スパン側パネル取付けは、図示ジョイント対象頁（柱部）を参照してください。



## 勾配角度 $8^{\circ} \sim 35^{\circ}$ のAR-2.3 押え金具（スパン途中）取付け要領

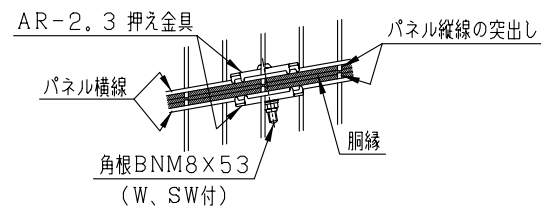
### 上・下段胴縁及び忍び胴縁（スパン途中）

下段胴縁部は※印角根ボルトM8×46を下から差込みます。但し、A2000以上の上側パネル下段胴縁部は上から差込みます。



### A1800中段胴縁（スパン途中）

A1800の上下接続は、パネルの上下に注意してください。縦線が突出している面を胴縁に取付けてください。



注意 1. 上・中・下段胴縁部及び忍び胴縁部とも、AR-2.3 押え金具を約300mm間隔（2mスパンで途中5ヶ所）に取付けパネルのガタツキを少なくします。

#### 2. AR-2.3 押え金具取付け手順

- パネル中央と胴縁中央を合わせてAR-2.3 押え金具をセットし、ボルト・ナットで締付ける。この時必ずしもパネル中央の縦線と胴縁中央の波形頂点は揃いません。
- 柱部ジョイント袖のAR-2.3 押え金具をボルト・ナットで締付ける。
- スパン中央部から約300mm間隔で順次AR-2.3 押え金具をボルト・ナットで締付ける。この時、ガタツキが少なくなることを確認しつつ位置を決定してください。

#### [納まり例]

